

「神の子キリスト・イエスは、「しかり。」と同時に「否。」であるような方ではありません。この方には「しかり。」だけがあるのです。」II コリント 1:

最近、教会が綺麗です。Rさんが教会に宿直し、毎日掃除してくれるからです。彼は、いつも笑顔で「はい。パスター。」ととてもいい返事をしてくれます。私達には、常に二つの選択肢があります。「行くか行かないか」「やるかやらないか」「はいかいいえ」です。時には「保留」という三つ目の選択肢を増やします。どれを選ぶかは、その人の自由です。しかし、聖書はキリストには「しかり。」しかありません。「はい」という一つの選択肢しかないと教えています。なぜ、「しかり。」だけなのかみことばから学びましょう。

## 1. 神の計画 「この確信をもって、私は次のような計画を立てました。」15

「しかり。」だけがあるとは、神の計画は、一つであり。キリストは、神の計画のみを選択されたという意味です。「人の心には多くの計画がある。しかし主のはかりごとだけが成る。」箴言 19:21 人の計画は、複数ありますが状況により変更、保留、中止しなければなりません。しかし、神にはその必要がありません。何故、神の計画は一つなのか。神には◆どんな計画も成し遂げられるからです。「あなたには、すべてができること、あなたは、どんな計画も成し遂げられることを、私は知りました。」ヨブ 42:2 ヨブには、苦難が来ました。家畜を失い、家を失い、家族を失い、病に冒されました。それは、彼の計画にはないことでした。その時、一番の理解者であって欲しい妻は、神を呪って死になさいと勧めました。心配してくれる友達も最初は思いやりを示しましたが、正論を掲げる彼らとは口論となりました。最後に登場する若者は、ヨブも年老いた友たちをも責めました。ヨブは、どれ程悩み、もがき、苦しんだでしょう。しかし、彼は最後には神にはどんな計画をも成し遂げることができることを悟ったのです。それは、彼が神に口答えをし、反論を止めた時でした。「ああ、私はつまらない者です。あなたに何と口答えできましょう。私はただ手を口に当てるばかりです。一度、私は語りましたが、もう口答えしません。二度と、私はくり返しません。」40:4.5 私たちの人生にも予想外の苦難が来ます。もがき、苦しみ、泣きます。しかし、自分の愚かさを認めた時に神を知ることができるのです。また、神の計画が一つである理由は◆できないことが一つもないからです。「見よ。わたしは、すべての肉なる者の神、主である。わたしにとってできないことが一つでもあろうか。」エレミヤ 32:27 神ご自身がわたしにできないことが一つもないと言われます。預言者は、町がバビロンに奪われ、王も捕えられと預言したことで監禁されます。しかし、神にはできない事がないと信じ、伝え続けました。「ああ、神、主よ。まことに、あなたは大きな力と、伸ばした御腕とをもって天と地を造られました。あなたには何一つできないことはありません。」エレミヤ 32:17 パウロには、コリントからマケドニアにマケドニアからユダヤに行く予定がありました。コリントの中にはそれを良く思わず、軽率だと言う人がいました。しかし、彼は神のことばに「否」がないのと同じように私に計画を与えられ、神に従った私にも否がないことを伝えたのです。「神に聞き従うより、あなたがたに聞き従うほうが、神の前に正しいかどうか、判断してください。」使徒 4:19.20 神には、一つの計画しかありません。私達は、神にはできないことが一つもないことを信じて神に従う道を選びましょう。

## 2. 神の約束 「神の約束はことごとく、この方において「しかり。」となりました。」20

「しかり。」だけがあるのは、神には一つの約束だけがあるからです。神の約束は、キリストよってことごとく「しかり」(実現)した。キリストの働きは、神が計画された救いの計画を成し遂げることだけでした。同様に私たちが神の約束に従うためには、◆一つに絞ることで「あなたがたに宣べ伝えた神の子キリスト・イエスは、「しかり。」と同時に「否。」であるような方ではありません。この方には「しかり。」だけがあるのです。」19 神の約束だけを選び、「はい」YES と答えることです。それは、最高の選択です。神は、ヨナにニネベに行くよう命じられました。選択肢は、一つでした。しかし、彼は、神の顔を避け逃げようとしてしました。「しかしヨナは、主の御顔を避けてタルシシュへのがれようとし、立って、ヨツパに下った。」ヨナ 1:3 神さまの計画はいつも一つ「救い」です。神がキリストを遣わされたのも私たちが救う為です。キリストには、それ以外の選択肢はなかったのです。「キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、」I コリント 15:3 また、神の約束に従うために、◆アーメンと言うことです「それで私たちは、この方によって「アーメン。」と言い、神に栄光を帰するのです。」20 主が私たちに求めておられるのは、アーメンだけです。アーメンは、始まりのことばです。神の約束を信じ、「はい」と答えることから始まるからです。そして従うことによって神に栄光を帰することができるのです。「というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。」ロマ 11:36 神には、一つだけの約束があります。私達は、神の約束だけに従い、アーメンと答え主に栄光を帰す者となります。God bless you.